

令和4年度 第10回青森市子ども会議

- 1 日 時 令和4年9月11日（日） 9時30分～12時30分
- 2 場 所 青森市総合福祉センター2階 大集会室
- 3 出席者 子ども会議委員10名、事務局2名
- 4 活動内容 ・青森市子ども会議フォーラム2022に向けて
（1）サブタイトルについて
（2）チラシデザインについて
（3）意見提案内容について

5 開催概要

11月20日に開催する青森市子ども会議フォーラム2022に向けて、サブタイトルやチラシデザイン、市への提案内容などについて話し合いました。

青森市子ども会議フォーラム2022に向けて

（1）サブタイトルについて

はじめに、あらかじめ考えてきてもらったサブタイトル案をみんなで共有しました。また、サブタイトルの先頭には、これまでの子ども会議委員の先輩方の思いを引き継ぐ意味も込めて、今年も「FOR CHILDREN」を付けることにしました。

みんなが考えてきた案をもとに、合体したり、さらに新しい案がないかを話し合ったりしながら、最終的に候補に残った全ての案で多数決をとりました。

<青森市子ども会議フォーラム2022 サブタイトル（案）>

- | | |
|----------------------|-------------------|
| ①聞いて！わたしたちの声をたくさんの人へ | ④届け！私たちの声 |
| ②ひらめきの種 大輪の笑顔へ | ⑤これからもずっと住みたい青森市へ |
| ③明日ももっと大成功！ | ⑥子どもの未来に夢と希望を |

委員の中でも意見が分かれたため、投票数が多かった6つの案に絞り、今回の会議に参加できなかった委員からも意見を聞くため、グループLINEで投票してもらい、その結果を参考に次回決定することにしました。



(2) チラシデザインについて

次に、チラシデザインについて話し合いました。毎年、子ども会議フォーラムでは黒板モチーフを使用してきましたが、話し合いの結果、今年も黒板モチーフでチラシをデザインすることにしました。

<デザイン案>

- ・黒板モチーフで作成する
- ・けんりはかせはパカパカに乗せる
- ・黒板にあるチョークも活用して、重要なところは赤いチョーク風の文字にする
- ・虹や花火や風船、青森市の特色であるねぶた、秋の旬の食べ物、男の子と女の子が手をつないでいるイラストなどを入れる
→イラストは黒板アートなどのチョークテイストにする

絵が得意な中学生委員が、黒板にチョークで描いたイメージで、パカパカのイラストを作りました。これらのデザイン案やイラストをもとに、事務局がチラシの案を作成してくれることになりました。どのようなチラシになるのか、次の会議が楽しみです。



(3) 意見提案内容について

これまでの子ども会議での活動を踏まえ、訪れた施設などの感想や発見したこと、より良くなってほしいことなどについてグループに分かれて話し合いをしました。

【EE チーム】

- ・部活動のクラブ化が進み、どんなクラブがあるのか情報が少ないと感じた。青森市のクラブチームなどを紹介してほしい。
- ・学校の体育館は部活動でも使用するから難しい部分があると思うが、個人でも使用できるように開放してほしい。
- ・市で開催しているスポーツイベントの情報が入ってこないで、チラシだけではなく、Instagramやツイッターでも告知してほしい。
- ・チラシを学校に配付するだけではなく、スーパーやショッピングセンター、市民センターなど子どもが足を運ぶ場所に置くことで、自分から手にとってもらえるのではないかと。
- ・YTK でやっている横町のようなことを自分たちでもやってみたい。



【PCAPCA グループ】

- ・八甲田山雪中行軍遭難資料館では、最初に見た説明動画がよかった。歴史や施設についてわかりやすかった。
- ・北のまほろば歴史館や中世の館のように、ワークシートがあると達成感があって良い。また、小さくてもよいので記念品があるとうれしい。
- ・ねぶたん号を実際に利用したが、各観光施設との連携がとれており、割引などもあるのがよかった。また、車内アナウンスで各施設の説明があり、観光客にもわかりやすくてよいと感じた。
- ・浪岡城跡を見学したが、どのような遺跡であるのか説明が少なく感じた。中世の館で説明を見てから浪岡城跡の観覧をおすすめするなどの案内をしてほしい。
- ・浪岡城跡の情報を学べる講習会やガイドによる案内がある日などの情報を知りたい。
- ・旧浪岡小学校の校舎などはインスタ映えすると思う。

子ども会議フォーラムの開催までは、まだ2か月あります。今日話し合った内容をもとに、実際に提案する内容などを具体的にまとめていきたいと思います。